

中学アメフト界に新風

創部3年目の立命館宇治中（京都府宇治市）アメリカンフットボール部が、初の公式戦となった関西選手権2回戦（4月29日、滋賀・長浜ドーム）で長浜市立西中に44-0で圧勝した。中学アメフト界に新規参入した今季、「出場初優勝」の偉業に挑む。

同中が開校した2003年、当時、立命大アメフト部総監督だった平井英嗣・現関西学生連盟理事長の呼びかけで創部された。部員全員がアメフト未経験。しかも高校とグラウンドを共有しているため、週3度しか練習できないが、大学3連覇中の立命大部員らの指導を受けて、めきめきと力を付けてきた。

初戦は、試合中に補給するスポーツドリンクの準備に手間取ったり、練習では見られなかった反則も相次いだり、と未熟な面を露呈した。しかし持ち前のスピードと立命大仕込みの高度な戦術もあって、インタージェトリタートンTDなどビッグプレーを連発した。西川拳太将（3年）は「初戦はやはり緊張した。でも、相手も同じ中学生。アメフトへかける思いは伝統校にも負けないことを見

創部3年目 立命館宇治中

大学の胸借り力つけ

「せたい」と気合を込める。同部には今春も10人以上が入部し、総勢40人と中学では大所帯のチームとなる。関学と並ぶ中高一貫の強化システムが確立されれば、他校にとって脅威。押淵毅監督は「中学では勝ち負けより、まずは競技の面白さ、基本をしっかりと身につけて欲しい。将来は、中高大そろっての優勝が夢」と意欲を語る。準決勝は6月11日、神戸市灘区の王子スタジアムで行われる。

デビュー戦の長浜市立西中戦に大勝した立命館宇治中（白いユニホーム）

